

# 大安寺報

第67号



曹洞宗 圓祥山大安寺  
住職：長岡 俊應  
副住職：長岡 俊成  
〒039-4401  
青森県むつ市大畑町  
本町 80 番地  
Tel 0175-34-2926  
Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daijanji.jp  
http://www.daijanji.jp

## 名句・名言に学ぶ

柳家小三治 (落語家)

いくら人から言われても自分が気がつかないうちはどうにもなりません。自分でこうと気がついた日にやこんな強いこたアない。

厳しい冬が終わりを告げ、やわらかな太陽の光が大地に注ぎ、身も心もあたたまる春。涅槃会と春季彼岸会を迎える時期となりました。当寺にとってこの三月は、お釈迦さまとともに皆さんのご先祖さまをご供養する大切な月です。ともに心一つに、また、真心を込めて勤めて参りたいと思います。

さて、私達仏教徒が大切にしなければならぬ大切な対象は「三宝」です。一つ目は「仏」(お釈迦さま)。二つ目は「法」(お釈迦さまの教え)。三つ目は「僧」(僧侶をはじめとする信仰集団)です。と言っても、初めて知ったという方も多いことでしょう。日本人は、自身が信仰する宗教を問われると七割もの人が「無宗教」と答え

るなど、自身の信仰に対して無自覚な人が多いことが特徴です。かく言う私もお寺に生まれ、小学校四年生の時に出家得度(僧侶の仲間入りをする事)させていただきましたが、仏教徒であり、僧侶であるという自覚が、恥ずかしながら約二十年前まで薄かったというのが正直なところでした。

そんな私の転機は二十八歳の時、高校の同級生が病気で亡くなったことでした。初めて「死」を自分事として捉え、「生きる意味」を求めた時、自分にとって最も身近な存在であったお釈迦さまの教え(仏教)にその答えを求めたのです。その後、大本山永平寺で修行をさせていただき、夜の坐禅を行っていた際、これまでお世話になってきた家族、お檀家さん、地域の皆さんとのお縁を振り返り、「自分、そしてお寺を支えてきてくれた人々のために尽くすことが、自分の生きる意味である」と確信することができました。そう思えたのも、お釈迦さま、教え、そして僧伽に関わる先人たちという「三宝」が私に働きかけ続けてき

てくださったからです。

「啐啄同時」という禅語があります。鶏の雛が卵から生まれ出ようとするとき、殻の中から卵の殻をつついて音をたてます。これを「啐」と言います。その時、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄」と言います。そしてこの「啐」と「啄」が同時であって初めて、殻が破れて雛が産まれるのです。思えば、私自身が本格的に僧侶としての道を志した時、言葉や生き方で私の殻を変わらずにつついてくれていたお釈迦さまや、私を支えてくれてきた人々が居てくれたからこそ、私は僧侶として再び産まれることができたのです。

冒頭のことばは、私の現在の気持ちや代弁してくれているように思います。私個人としてもファンであつた小三治師匠は、惜しむらくも、昨年十月七日に亡くなりましたが、遺してくれた言葉は今も多くの人々に影響を与えています。涅槃会でご供養するお釈迦さまも、そして、彼岸会でご供養する皆さんのご先祖さまも同様です。この三月は、そんな方々のご遺徳を偲び、自分自身の志を立てる機会としたいものです。

合掌 (副住職)

## □新型コロナウイルス感染症拡大防止のための当寺の対応について

- 屋内ではマスクを着用ください。
- お参りは混雑時を避け、短時間かつ最少人数でお願いします。
- 発熱(37.5度以上)のある場合は法要への参列・参拝をお控えください。
- お参りの際は必ず手指を消毒してください。
- ※感染拡大の際は法要を無参列法要とし、行事自体を中止する場合があります。

### 【葬儀・法事について】

- 人数制限は設けず、席と席の間隔をあけ、換気を頻繁に行うなどの対応をします。
- 本堂には空気清浄機を設置し、また法要の間などを利用して換気を励行します。
- スマートホンなどでネット中継ができるよう、WiFiを整備し三脚を備え付けましたのでご利用ください。
- ネット中継による無参列法要をご希望の方はメールにてご相談ください。

## 行事予告

### 大安寺 花まつり

お釈迦さまの誕生をお祝いする恒例行事を開催いたします。

※新型コロナウイルス感染症状況によっては中止もしくは内容を変更する可能性があります。

○開催日：令和四年五月八日(日)  
午前九時～午後二時

○共催：大安寺保勝会  
○釈尊降誕会法要 午前十一時～(本堂にて)

曹洞宗テレホン法話  
曹洞宗宗務庁運営  
0120-508-740  
携帯の方は03-3454-5410

曹洞宗テレホン法話  
「心の電話」  
東北管区教化センター運営  
022-218-4444  
※3月21日～31日  
「梅の木の手」  
(副住職担当)

### 【維持費納入について】

令和三年度分維持費(四千元)の納入がお済みでない方、また、お手元にゆうちょ銀行払込取扱票が届いていない方は、当寺までご連絡ください。(最終納付期限は令和四年三月三十一日です)なお、令和四年度分維持費関係書類は令和四年六月末から郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けする予定です。

- 甘茶かけ 午前九時～(本堂前にて)  
※先着百名さまに、甘茶バック(お子さま向け)を進呈
- お茶会 午前九時～午後二時(茶室にて)
- チャリティーマルシェ 午前九時～午後二時
- ☆チャリティーマルシェ出店要項
- 出店料：千円/区画：2m×2m程度※テント・椅子・机はご用意します。
- ※参加申し込みは、四月二十八日(木)までに、メール(info@daijanji.jp)、Fax(0175-346426)、電話(086-2042-8337)にて、「グループ名」「代表者氏名」「電話番号」「主な販売物」をご連絡ください。

### 各種講座のご案内(令和四年三月～五月)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止する場合があります。なお、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。
- ◆ 「月例写経・写仏会」(予約不要)  
日時 三月二十七日(日)、四月二十四日(日)、五月二十一日(日) 午後一時～三時  
内容 ミニ法話・写経・写仏  
場所 中広間 参加費 三百円 備考 椅子席
- ◆ 「暁天坐禅会」(予約不要)  
日時 四月三日(日)、十七日(日)、五月一日(日)、十五日(日) 午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合  
内容 禅語紹介・坐禅  
場所 本堂 参加費 無料 備考 椅子坐禅可能 服装 動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

### 行事カレンダー(令和四年三月～五月)

- 三月十五日(火) 午前十一時～  
「涅槃会法要」(本堂)  
※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
- ※新型コロナウイルス感染症防止のため「だんごまき」は中止します。
- 三月二十一日(月) 春分の日 午前十一時～  
「春季彼岸会法要」(本堂)  
※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて
- 五月八日(日) 午前十一時～  
「降誕会法要」(本堂)  
※お釈迦さまの降誕(誕生)にちなみ、報恩感謝する法要です。

### 編集後記

長く厳しい冬も終わり、草木が芽吹く春も目前となりました。本堂前の梅の蕾も少しづつふくらみ、四月下旬には花咲くことと思います。そんな梅の木が私達に与えてくれる力についてテレホン法話にまとめました。上欄掲載の「心の電話」からお聞きいただけるとうれしいです。(副住職)

次号のご案内 令和四年六月上旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)